

# 神楽峰 1990. 1. 22 (月) 晴

メンバー：佐藤晶彦 他1名

1年前の同じく1月22日に、全く同じルートを行っている。  
天気さえ良ければ、この時期の神楽峰は新雪滑降が楽しめるよ  
うだ。特に霧の塔からピーク1994mにかけては、カナダハリス  
キーを思い出させるような山並であった。

さすがに平日ですいている。昨年、長蛇の列がうそのようで  
切符を買ってすぐにロープウェイに乗る。ゴンドラが動き出す  
のを20分程待つと和田小屋へ。さらにリフト1本を乗り継ぐ。  
かぐら第5リフトは今日も動いておらず、昨年同様、第1リフ  
ト終点からシールで登り出す。天気は良いが、風が少し強い。  
日の当たるここは、少しくラストしているが、日陰は上越と  
は思えないような良い雪質で、滑るのを楽しみにしながら登る。  
ピーク1984mから霧の塔と鞍部へひと滑り、良い斜面を見つ  
けて少し東側に下ると、粉雪の滑降を楽しめた。

霧の塔からの下りは、少しひ、かかると雪だったか、まぶまぶ  
の滑りであった。ピーク1710m南面へ入る手前で大休止、越後三  
山が美しく望まれる。和田小屋を目指して高度を下げると、日  
当たりのよい斜面でクラストがみな上に、木も多く滑りにくい。  
沢を渡る部分では、今年もルートファイニングをさせられ  
た。ゲレンデへ出ると風が無く、春のような陽気であった。回  
教券が余っていたので何回かゲレンデを滑ってから、関越も渋  
滞なしで帰った。やっぱり平日はいいなあ!!

タイム：第1リフト上 950 → 霧の塔 1245 / 1300 → 和田小屋 1445

